



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 大豊工業株式会社

コード番号 6470 URL <http://www.taihonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉原 功一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 延川 洋二 TEL 0565-28-2225

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	53,926	2.4	3,369	16.8	3,028	6.4	2,130	28.3
28年3月期第2四半期	52,686	7.5	2,884	27.6	2,846	27.2	1,660	17.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 Δ 963百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 1,456百万円 (83.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	74.26	—
28年3月期第2四半期	57.87	57.73

(注) 当四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	113,801	57,655	49.9	1,979.71
28年3月期	104,906	59,173	55.6	2,033.12

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 56,831百万円 28年3月期 58,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	18.00	—	21.00	39.00
29年3月期	—	19.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	21.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	1.6	6,900	4.1	6,400	1.6	3,900	3.4	135.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	28,862,457株	28年3月期	28,844,457株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	155,463株	28年3月期	155,341株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	28,691,636株	28年3月期2Q	28,689,332株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P3
(4) 追加情報	P3
3. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報等)	P9
4. (参考) 個別財務諸表(要約)	P11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州では内需を中心に堅調に推移しましたが、中東諸国、ロシア、ブラジル等の資源国や新興国の一部では依然として減速傾向が続いており、全体として、景気の先行きは不透明な状況となりました。

我が国経済は、政府・日銀による経済・金融政策を背景に、企業業績や雇用環境に改善が見られたものの、円高の進行により輸出関連企業を中心に企業収益の伸びが鈍化し、個人消費の伸びも引き続き足踏み状態が続きました。

自動車業界においては、米国、欧州で原油安を背景に販売が堅調に推移し、中国では政府の減税政策により販売台数の増加があり、新興国の一部では前年を下回ったものの、全般として前年を上回る結果となりました。

このような経営環境の下、当社は2016年4月に公表しました「2016-2018年度中期経営方針」「ゆるぎない『信頼と技術』でグローバルに躍進」のもとに掲げた、「技術・品質・原価の徹底追及により、世界トップの競争力を持つ企業となる」「人材・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する」の2つの活動指標の達成に向けて、グループの総力をあげ、愚直に活動を推進してまいります。

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は53,926百万円となり、前年同四半期に比べ1,240百万円の増収(前年同四半期比2.4%増)となりました。

②営業利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は3,369百万円となり、前年同四半期に比べ485百万円の増益(前年同四半期比16.8%増)となりました。

③経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は3,028百万円となり、前年同四半期に比べ181百万円の増益(前年同四半期比6.4%増)となりました。

④親会社株主に帰属する四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は2,130百万円となり、前年同四半期に比べ470百万円の増益(前年同四半期比28.3%増)となりました。

セグメントの業績を示しますと、次のとおりであります。

①自動車部品関連事業

自動車部品関連事業においては、売上高が44,990百万円となり、前年同四半期に比べ1,250百万円の増収(前年同四半期比2.9%増)となりました。

②自動車製造用設備関連事業

自動車製造用設備関連事業においては、売上高が8,825百万円となり、前年同四半期に比べ16百万円の減収(前年同四半期比0.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は60,538百万円であり、前連結会計年度末に比べ11,349百万円増加しております。現金及び預金の11,869百万円の増加、たな卸資産の360百万円の減少、受取手形及び売掛金の146百万円の減少が主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は53,262百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,454百万円減少しております。機械装置及び運搬具の831百万円の減少、建物及び構築物の762百万円減少、建設仮勘定の417百万円の減少、繰延税金資産の120百万円の減少が主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は29,098百万円であり、前連結会計年度末に比べ4,936百万円減少しております。1年内返済予定の長期借入金の3,244百万円の減少、支払手形及び買掛金の2,881百万円の減少、未払法人税の599百万円の減少、その他のうち設備未払金の410百万円の減少、電子記録債務の2,615百万円の増加、が主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は27,047百万円であり、前連結会計年度末に比べ15,349百万円増加しております。長期借入金の15,518百万円の増加が主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は57,655百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,518百万円減少しております。為替換算調整勘定の2,995百万円の減少、利益剰余金の1,528百万円の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、連結売上高 1,090億円、連結営業利益 69億円、連結経常利益 64億円、連結親会社株主に帰属する当期純利益 39億円を見込んでいます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,719	24,589
受取手形及び売掛金	18,134	17,987
電子記録債権	4,253	4,304
商品及び製品	2,892	2,727
仕掛品	2,810	3,053
原材料及び貯蔵品	4,713	4,275
繰延税金資産	1,520	1,425
その他	2,378	2,369
貸倒引当金	△233	△194
流動資産合計	49,189	60,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,526	29,910
減価償却累計額	△18,058	△18,203
建物及び構築物(純額)	12,468	11,706
機械装置及び運搬具	85,394	84,836
減価償却累計額	△67,134	△67,407
機械装置及び運搬具(純額)	18,260	17,428
工具、器具及び備品	17,794	17,919
減価償却累計額	△16,351	△16,550
工具、器具及び備品(純額)	1,442	1,369
土地	13,364	13,254
リース資産	312	308
減価償却累計額	△191	△197
リース資産(純額)	120	111
建設仮勘定	3,764	3,346
有形固定資産合計	49,421	47,216
無形固定資産		
リース資産	11	6
その他	1,155	1,159
無形固定資産合計	1,166	1,166
投資その他の資産		
投資有価証券	2,654	2,590
繰延税金資産	1,561	1,440
退職給付に係る資産	263	255
その他	682	634
貸倒引当金	△32	△41
投資その他の資産合計	5,129	4,880
固定資産合計	55,717	53,262
資産合計	104,906	113,801

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,603	7,722
電子記録債務	4,294	6,909
1年内返済予定の長期借入金	9,716	6,471
リース債務	55	52
未払費用	5,146	5,340
未払法人税等	1,196	597
繰延税金負債	0	—
役員賞与引当金	190	92
その他	2,830	1,911
流動負債合計	34,035	29,098
固定負債		
長期借入金	8,589	24,107
リース債務	80	69
繰延税金負債	492	467
退職給付に係る負債	1,768	1,758
役員退職慰労引当金	179	164
資産除去債務	129	124
その他	458	354
固定負債合計	11,697	27,047
負債合計	45,733	56,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,480	6,492
資本剰余金	9,949	9,961
利益剰余金	40,199	41,727
自己株式	△192	△192
株主資本合計	56,436	57,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973	919
為替換算調整勘定	1,503	△1,491
退職給付に係る調整累計額	△586	△585
その他の包括利益累計額合計	1,891	△1,157
新株予約権	112	138
非支配株主持分	732	685
純資産合計	59,173	57,655
負債純資産合計	104,906	113,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	52,686	53,926
売上原価	42,964	43,630
売上総利益	9,721	10,295
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	523	509
役員報酬	185	169
従業員給料	1,489	1,499
賞与	476	493
退職給付費用	93	80
法定福利費	299	311
福利厚生費	265	256
役員退職慰労引当金繰入額	25	24
役員賞与引当金繰入額	91	94
賃借料	96	101
旅費及び交通費	148	146
減価償却費	211	197
研究開発費	1,683	1,798
その他	1,246	1,241
販売費及び一般管理費合計	6,837	6,926
営業利益	2,884	3,369
営業外収益		
受取利息	20	22
受取配当金	38	34
為替差益	15	—
その他	84	70
営業外収益合計	159	127
営業外費用		
支払利息	69	37
固定資産除却損	52	22
為替差損	—	359
持分法による投資損失	27	14
その他	48	34
営業外費用合計	197	468
経常利益	2,846	3,028

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	4	0
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	0	1
固定資産売却損	0	3
投資有価証券評価損	—	2
貸倒引当金繰入額	—	4
資産除去費用	4	0
減損損失	325	—
その他	0	—
特別損失合計	330	12
税金等調整前四半期純利益	2,520	3,017
法人税、住民税及び事業税	784	731
法人税等調整額	73	103
法人税等合計	858	835
四半期純利益	1,661	2,181
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,660	2,130

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,661	2,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△302	△54
為替換算調整勘定	100	△3,082
退職給付に係る調整額	7	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△18
その他の包括利益合計	△205	△3,145
四半期包括利益	1,456	△963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,464	△918
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△44

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 関連事業	自動車製造 用設備関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,739	8,841	52,581	105	52,686	-	52,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	538	538	622	1,160	△1,160	-
計	43,739	9,380	53,119	727	53,847	△1,160	52,686
セグメント利益	4,893	698	5,591	42	5,633	△2,749	2,884

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品の小売・自動車部品の物流・梱包等のサービス等を含んでおります。

2 セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との調整額△2,749百万円は、主に全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)となっております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書との調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間において、常州恒業軸瓦材料有限公司を、完全子会社化した際に発生した「自動車部品関連事業」に係るのれんについて、325百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

上記「固定資産に係る重要な減損損失」に記載した減損損失により、前第2四半期連結累計期間において、「自動車部品関連事業」に係るのれんを、完全子会社化した時点の事業計画で想定していた収益が見込めなくなったことから、全額減損損失としております。

なお、当該事象によるのれんの減損額は325百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 関連事業	自動車製造 用設備関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,990	8,825	53,815	110	53,926	—	53,926
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	482	482	645	1,128	△1,128	—
計	44,990	9,307	54,298	756	55,054	△1,128	53,926
セグメント利益	5,298	994	6,292	68	6,361	△2,991	3,369

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品の小売・自動車部品の物流・梱包等のサービス等を含んでおります。

2 セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との調整額△2,991百万円は、主に全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)となっております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書との調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. (参考) 個別財務諸表(要約) (平成28年4月1日～平成28年9月30日)
損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

期別 科目	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	29,381	28,975
売上原価	24,229	24,072
販売費及び一般管理費	4,063	4,112
営業利益	1,088	789
営業外収益	904	1,142
営業外費用	105	108
経常利益	1,888	1,823
特別利益	4	1
特別損失	4	6
税金等調整前四半期純利益	1,887	1,818
法人税、住民税及び事業税	218	177
法人税等調整額	113	60
四半期純利益	1,556	1,580

貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

期別 科目	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	28,534	40,355
現金預金	9,041	20,919
受取手形及び売掛金	8,761	8,138
その他	10,730	11,298
固定資産	46,481	46,074
有形固定資産	22,042	21,925
機械装置	7,383	7,260
その他	14,659	14,664
無形固定資産	247	238
投資その他の資産	24,192	23,910
合計	75,016	86,430

期別 科目	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	25,410	19,882
固定負債	6,866	22,809
負債計	32,277	42,691
(純資産の部)		
資本金	6,480	6,492
資本剰余金	10,135	10,147
利益剰余金	25,571	26,550
自己株式	△ 215	△ 215
その他有価証券評価差額金	653	624
新株予約権	112	138
純資産計	42,738	43,738
合計	75,016	86,430

*開示した四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象にはなりません。